

『紡ぐ』

2022.4.1 第39号
発行 教育相談室「あした塾」



(穴水町川又川 穴水町役場付近)

穴水町の 春の風物詩

河口に田ツ平網をしい
け、寄ってくる「いさぎ」(し
ろうお)をすくいあげます。

注目!!

穴水町議会は3月議会最終日、議会議決で、ロシアによるウクライナ軍事侵襲に反対する、意見書を全会一致で議決しました。国に送致します。

「しんぶん『紡ぐ』」

3月に

2020年4月に「穴水町が住みよく、生き生きとした町として存在し、存続するために、何が必要なのか、どんな取り組みが考えられるか、行政、議会、そして町民が、それぞれの立場で考え、知恵を出しあっていきたいと思います。」という思いで、この「しんぶん『紡ぐ』」を発行することにした。

多くの皆さんのいろいろな力を借りて、当初180部余りでスタートした「しんぶん」は、今では380部余りに増えています。多くの人に読んでほしい。穴水町のために力を出してもらえたら、とても嬉しいことです。各地区の区長さん、町内会長さんには、ご面倒をおかけしていますが、回覧のりせ話をいただき感謝しております。今後も穴水町を元気にするための活動をしていきます。変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。(「あした塾」代表 滝井元之)



風をよせたい!

能登半島地震15年イベント

能登半島地震
から15年が経ち

ました。3月25日、穴水町役場3階大ホールで「能登半島地震15年メモリアルイベント」が行われました。震災時、穴水町の支援に入っていたNPO法人「レスキューストックヤード」の代表理事 栗田暢之氏の講演の他、穴水町出身の音楽工房 権右達哉さんプロデュースの「ふるさと能登スリムコンサート」やヤマハヴォーカリスクール ハミダの「能登を元気にコンサート」がありました。能登半島地震のことを知らない子どもたちが増えていきます。私たちが体験したこと、学んだこと、活動したことをしやり伝えていく責任を感じ、あわせて防災意識を高め、いく努力をしていかなければいけません。



投稿

穴水町 堀
室木 正武

あおり高賊 甘海老 はちめ
行商の荷台に 春の海ひらける
物忘れひどくなりたり ワクワンの
副反応のせいやもしいず

穴水再発見の旅 実施 3月26日



(比良 法栄寺住職による 御物石器の説明です)

3月26日(土). 教育相談室「あした塾」が企画した「穴水再発見の旅」テストツアーが実施されました。当日は小雨が降り続いていましたが、町内外から30名が参加しました。

「比良・法栄寺の御物石器」「東山寺・清林寺の甚左衛門地蔵」「明行寺・明泉寺と鎌倉屋敷」「沖波・十三塚経塚」の4ヶ所を巡りました。各寺のご住職の方からは、準備や説明など、とてもいい対応があり、参加者に喜ばれました。

今回はテストツアーという位置づけで、とてもハードなスケジュールでしたが、移動時のバスの中では「来てよかったー!!」という声がありました。

後日、送られてきた感想や提案には参考になるものが多く、今後の計画に生かされることになると思います。



(清林寺の甚左衛門地蔵と法風住職)



(明泉寺を説明する川元住職・鎌倉屋敷)



(沖波・十三塚)



(3月18日、地区住民らで十三塚の看板を立てる)

穴水のことを知りましょう。
穴水のことを語れる
ように創りましょう。

穴水のこと、どれだけ知っているでしょうか？ 皆様には穴水の何を語ることでできますか？

町民の多くが「里十郎」さんになったら、すばらしいと思いませんか？

3月26日 組別

十三塚の謎

今回がツアーで、この沖波十三塚に興味を示す方が何人もいました。この十三塚、実はわかっていないことがあります。郷土誌や諸橋村史だけではわかっていないのです。前記の大きな石柱が謎の一つです。教育委員会や専門家の調査に期待したいのですが、どうでしょう？